



第48回例会

平成20年6月25日(水)
サンパレス福島

本日のプログラム

- 1.開会点鐘
- 2.Rソング「奉仕の理想」
- 3.四つのテスト
- 4.来訪者紹介と会長挨拶
- 5.退会者挨拶
- 6.幹事報告
- 7.会長幹事最終挨拶
- 8.バッチ贈呈式
- 9.各委員会報告
- 10.閉会点鐘

今月・来月のプログラム

- 7月 9日(水) 平井ガバナー補佐クラブ訪問
- 7月16日(水) クラブ協議会委員会活動計画発表
- 7月23日(水) クラブ協議会委員会活動計画発表
- 7月30日(水) 18:00～ 家族納涼パーティー
- 8月 6日(水)～8日(金) IAC年次大会(福島県青少年会館)

会長挨拶

武藤 正隆会長



こんにちは。恒例の俳句をお楽しみ頂きたいと思ひます。
まのあたり 天降りし蝶や

桜草 [しば ふきお]
優しく可憐な桜草を屈みこんで観ていると、天女が舞い降りたように蝶が桜草にとまったのは、初々しく美しいことですよ。蝶と桜草とで、これほ

どの宇宙観を感じさせ、抒情が豊かで美意識も大らかなという点では類が無いとされる作品です。

さて、会長職最終の例会となりました。これも会員皆様のご協力によるもので、深く感謝致します。

今年の目標の一つ、『職業奉仕を理解しよう』との趣旨で、会員各位に具体的に発表頂きました。スピーチを通して、会員それぞれの職業奉仕活動を理解するこ

とが出来ました。

もう一つの目標は、『例会を楽しもう』でした。私も楽しい例会とするべく、会長挨拶の冒頭に俳句を入れてさせて頂きました。

当クラブから、いよいよガバナーノミニーが選ばれました。40周年には、初めてガバナーが誕生するということになります。会員一丸となって、博多義雄会員が実りあるガバナーの活動が出来るよう支えることを是非ともお願い致します。

次年度は広澤丸を皆様と共に支え、さらに、発展することを心から祈念して挨拶とさせて頂きます。

大変にお世話になりました。

本日のお客様

- 福島21ロータリークラブ 宗形 守敏様
- 福島21ロータリークラブ 佐藤 信博様

退会メンバーあいさつ

「入りて学び、入りて奉仕せよ」 佐藤 信 会員
ロータリーに入会して、31年と6ヶ月。今では、ロータリーは私の人生の規範となっております。人間形成に大きな影響を与えて頂き、ロータリーに入会していなければ現在の私はありません。また、全国に多くの友人が出来ましたことも大きな財産となりました。



四つのテストは人生の基本 小宅 厚 会員

平成4年入会以来、16年間の永き亙りロータリーライフを楽しませて頂きました。16年間の内8年が郡山勤務でした。活動への参加があまり出来ない状況

にあり、メーカーキャップをし、出席100%でお返ししたいと心に誓いました。

ロータリー活動を通して身についた「四つのテスト」の精神を、これからも持ち続けたいと想っております。これらの我が人生の基本としたいと想っております。



会長最終あいさつ 武藤 正隆 会長



新旧会長 バッチ贈与式

ロータリー活動が100年を越えてさらに継続して続くときに、変わらないものは何かを考えると、やっぱり、奉仕であり、職業奉仕こそ中核となる。日々の仕事を通じて社会に奉仕し、賢明に働き、良い製品を社会に提供することを繰り返すこそがロータリアンです。

ロータリー活動は自らの人格の一部となり、真情となってこそロータリアンであり、ロータリーを離れても行動や言動となります。私も、一言の中に滲み出るようなロータリアンになりたいと想っております。

いよいよ博多ノミニーが準備態勢となります。私達はガバナー輩出クラブの品格を持ち一丸となって頑張る参りましょう。ありがとうございました。

幹事挨拶 林 克重 幹事



新旧幹事 バッチ贈与式

1年間幹事を務めさせて頂き感謝致します。幹事役は、クラブの秘書役と研修時に学びました。よく理解できないまま7月の第1回例会を迎えたよう

な気がします。

例会は、理事会承認後に各委員長と準備をし、会長幹事の打ち合わせで内容や各種連絡確認をします。当日は、SAA皆さんと会員の来場を待ち、例会の司会を務めさせて頂きました。閉会点鐘と例会の数が増えていくのが楽しみでもありました。

理事会は毎月第2週開催。例会内容確認、各理事よりの委員会活動の決定と報告などです。何より、クラブ活発化のために理事の皆さんと意見交換をさせて頂きました。

つたない幹事にご協力頂き感謝致します。

編集担当 丹治智幸

